



農家生活のうるおいに

自家用果樹を

向井四郎

いわゆる内地に旅行すると、冬から春にかけては柑橘類、夏はびわ、秋はざくろ、いちぢく、柿等が農家の庭々に植えられ、それぞれ固有の色沢を輝かせているのは非常に好ましいもので、なんとなく豊かな感じを受けるのは、ひとり私ばかりではなからうと思えます。

ひるがえつて道内一般の農家の庭先を見ますと至つておそまつで、なんとなくさむざむとした感じを受けます。しかし最近、秋など相当綺麗な草花が咲き乱れている所もあつて、ほお笑ましく感じられますが、自家用の果樹を植えている人は、まだまだ少く、府県の農家とは較ぶべくもありません。

本道は古く開拓使時代に、屯田兵及び一般農家に果樹苗木の無償配付を行つた歴史があります。その割合に現存しているものが少く、近くは天皇が本道においてなされたのを記念して、聖旨奉戴記念事業と銘打つて、自家用果樹苗木の配付を昭和十二年から三年間行われましたが、戦争になつたため、そのほうの栽培の指導をしなかつたことと、食糧作物増産に重点がおかれた結果、その当時の配付のものがいくばくも残つていない現状であります。

しかし最近では供出作物は米だけになり、一般農家も相当地果樹苗木の購入意欲が盛んになりつつありますことは喜ばしいことでもあります。幸い、講和条約が締結されたのを記念する事業として、北海道庁は昨年三十万本の果樹苗木を仕立て、この春中に全部の配付を完了して、意義あるものにしたものと努力中であります。

農家が自家用に果樹を植えるのは、単に慰めや楽しみのためばかりでなく、食生活を豊かにし、菓子や果物を買う費用を節約し得るほか、保健衛生の面からも、また家庭経済の面からも、すこぶる利益があり、ひいては農村生活の向上を促すと共に、その栽培を通じて農家の気持を和やかにして、うるおいのある生活ができるようになるという好結果が得られます。

このような意味から、全道の各農家が拳つてそれぞれの地方に適した果樹の品種を選んで、栽培していただきたいのであります。

す。

次に品種の選定に當つては、なんでも珍らしいものをとという考えを起さず、それぞれの地方でよく生育している品種で作り易いものを選びべきであります。

例えば「りんご」を十勝、釧路、根室、宗谷地方で植えるという場合は、耐寒性という点を第一に考えるべきで、したがつて黄魁、紅魁、旭、エベレン、アイオワビューター等がよく、国光、紅玉、デリシヤス類を作るといふことは絶対にはげべきであります。尤もこれ等の地方でも、盆地のようになり、特に暖かい所では、これらの品種もできておりましたが、こうゆうところを見て、どこにでもできるのだと早合点して植えないように、くれぐれも注意することが大切であります。またその他の暖かい地方でも、デリシヤス類等のいわゆる高級りんごを最初から作ることは特にいしむべきことでもあります。しかし、経験を積んで自信ができてから植えることは、大いにお奨めいたします。

なし、ぶどう、さくらんぼ、等の品種の選定も、皆同様の考え方で選ぶべきであります。

以上の果樹類は、とかく一品種のみでは実の成りが悪いか、中には七重八重花は咲けども実の一つだに成らぬ」というものもありますから、必ず二、三品種選つたものを混ぜて植える必要がありますので、この点特に注意することが肝要であります。次に果樹は植えさへしておけば実が成るといふものではなく、年々枝切りをするのと、毎年樹の活動期間中、すなわち早春

から晩春まで少くとも三〜四回くらいは病虫害の予防に薬剤を散布する必要があります。これらの点につきましては、農業改良相談所に聞いたり、附近の経験者に尋ねたりして、よく世話をしければ、果樹は自らうまそうなる実を成らしてくるものであります。

このほか手数のかかるものでお奨めしたいものに信濃くるみ(菓子くるみ、手打くるみと言われるもの)と栗があります。信濃くるみについては、神居古潭以南で寒くない所が安全と考えられます。もつともそれ以北でも、暖かい特殊地帯であればよいと思えますが、野生のくるみ(おにじくるみ、ひめくるみと言われるもの)が成つているのだからよからうなどと考えて植えることは最も危険なことで、折角の苗木も皆枯らしてしまふことになりまふ。

栗についても、最近名称登録され、耐寒性あると言われている甘栗がありますが、これらも信濃くるみ同様に、神居古潭を境にして考えたほうが安全と思われまふ。寒い地方では、その地方で毎年よく成る樹から生まれた実生苗を栽培すれば、大概間違ひありません。

以上の果樹に対する植付並びに栽培管理等につきましては、自己流を出さず、よく指導者の言うことを聞いて、早く実が成るよう努めて下さい。終りに、北海道の農家も府県なみに各戸に果樹を植付けて、うるおいのある生活を営まれるよう、切に希望して止まない次第であります。

(筆者は北海道農務部・園藝係長)